

事務事業実績測定調書

R4調書番号 627

事務事業名称	塵芥収集業務(家庭ごみ業務第2課)										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	家庭ごみ業務第2課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民サービスを低下することなく、効果的・効率的な収集体制を確立すること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時や緊急時等において、市民生活への影響を最小限に抑え、市民サービスの低下がなく迅速に対応できるようセーフティネットを踏まえた効率的な収集体制を確立する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「一般ごみ」は市域を2ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに週2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) 「紙類(新聞紙、段ボール、雑誌・雑がみ)」は市域を10ブロックに分割し、それぞれのブロックごとに月2回の指定曜日を定めて収集する。(定曜日収集方式) 「粗ごみ・大型ごみ」は電話及びインターネット予約による申し込みにより収集する。ただし、粗ごみと大型ごみそれぞれの区分ごとに1世帯、月1回6点までに限る。(戸別収集方式) 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		家庭系一般廃棄物(ふん尿を除く)を迅速かつ適正に収集する。				各種ごみ効率よく収集できるよう、収集方式を定める。							
指標設定	指標説明	収集を行う日数				収集方式数							
	指標種類					単位	日	単位	方式				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					258	258	258	258	3	3	3	3
	実績					258	258	258		3	3	3	
達成度					100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	34.75
再任用	7.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	5.47
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	401,678	310,740		
	会計年度任用職員	-	19,154	17,473		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	420,832	328,213		
	物件費計	-	7,834	7,834	7,905	99.1%
	歳出計	-	428,666	336,047		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	1,932	1,938	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	1,932	1,938	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	7,834	5,902	5,967	

5. 総括的分析

総括的分析	家庭系一般廃棄物収集業務全般として、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、収集業務を休止することなく2人乗務の運営などにより、市民サービスを低下させることなく運用できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	収集体制が縮小される中、効率的・効果的なごみ収集業務体制構築に加えて、スピード感のある実効的な収集体制を構築するとともに多様化する市民のニーズに応じていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 943

事務事業名称	家庭ごみ業務第2課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	家庭ごみ業務第2課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事務を行うごみ家庭ごみ業務第2課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)					
事業概要	・事務の効率的な業務運営が行えるよう執行体制の維持を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	7,857	15,624		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	7,857	15,624		
	物件費計	-	24	0	0	
	歳出計	-	7,881	15,624		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	24	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染の終息を迎える事が出来ず長年にわたる慣行がくずされた中、職員への感染予防対策を講じるとともに市民サービスを低下させることなく運用することが出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	備品管理、収集業務が円滑に遂行できる執行体制を整えるとともに、突発的な事態に対応できる体制維持を図っていく